

2018 高校生国際理解セミナー

基調講演・活動報告 「カンボジア王国における貧困家庭児童の教育支援」

体験発表 「豪州・姉妹校との交流をとおして学んだこと」

意見交換会（5班に分かれて）

高校生国際理解セミナー（広島ユネスコ協会と広島市青少年センターが主催）が、12月23日（日・祝日）、中区袋町の合人社ウエンディひと・まちプラザで行われました。

基調講演では安田女子大学4年の光井佑希さんが、『カンボジア王国における貧困家庭児童の教育活動支援報告』と題し、実際にひろしまハウスで活動された経験を基に、カンボジアの教育に対する現状をお話されました。（写真①）

続いて、広島県立安古市高校1年の牧本武蔵くん、寺坂郁彦くん、大久保帆夏さんが豪州の姉妹校と交流を通して学んだことを発表されました。（写真②）

最後の意見交換会では広島大学附属中・高校の藤原隆範教諭の進行でまとめを行いました。当日は30名を超える高校生たちに加え、広島大学ユネスコクラブの大学生が参加してくれたこともあり、実り多い意見交換会になりました。（写真③）

寄稿 広島市青少年センター



(写真①)



(写真②)



(写真③)